



令和7年度（2025年度） 豊田市当初予算案

令和7年2月14日

第9次豊田市総合計画

○ 令和7年度（2025年度）から新たな総合計画がスタート

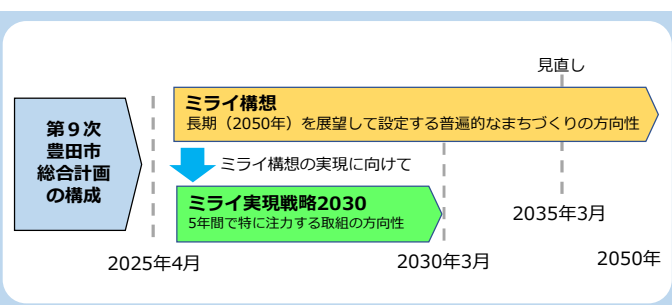
ミライ構想

長期（2050年）を展望して設定する普遍的な豊田市のまちづくりの方向性

将来像

つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた

- 「**つながり**」によって、
多様な価値や可能性を創出するまち
- 「**チェンジ**（変化）」と「**チャレンジ**（挑戦）」
によって、しなやかに変化し続けるまち



ミライ実現戦略2030

ミライ実現戦略2030の背景

「人口減少社会への突入」「人口構造の大転換」

- 人口減少：2050年の人口推計 約37万人（高齢化率33.4%）
- 少子化の進行：本市で生まれるこどもの数が10年で約33%減少（2014年→2023年）
- 若年女性の流出：15～39歳の日本人女性が直近3年で約2,000人減少
- 外国人人口の増加：本市に住む外国人住民が、2万人を超え過去最高

5年間で特に注力する視点

視点1 「こども起点」でまちづくりを考える

○次世代を担うこどもたちが、多様な場で多世代とつながり、多様な経験をするとともに、いきいきと暮らす大人の姿をこどもたちに伝えることで、まちへの愛着を育み、こどもたちのミライに夢と希望をつくることを目指す

視点2 誰もが「つながり合う」まちづくりを進める

○まち全体でこどもの成長を支え、こどもから高齢者まで、全ての人がつながり合いの中で安心して暮らすことができる社会を目指す

視点3 人を支える「まちの基盤」をつくる

○圏域をリードする産業中枢都市として深化し、拠点連携型の都市構造の中で安全・安心で魅力的なまちづくりを進め、豊かな自然環境を次世代へ受け継ぐことを目指す

2

ミライ実現戦略2030

取組方針1 とともにこどものミライに夢と希望をつくる

取組目標① こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる

- (1) こどもがミライを生き抜く力と自己肯定感を高めている
- (2) 人生100年時代に誰もが学び合いを通じていきいきと暮らしている
- (3) 市民のまちへの愛着・誇りが育まれている

取組目標② 誰もがつながり合いの中で安心して自分らしく暮らすことができる

- (1) まち全体がこどもの成長を支えている
- (2) 誰もが地域・多世代でともにつながり合いながら暮らしている

取組方針2 とともにミライにつながるまちをつくる

取組目標③ 産業中枢都市として深化し続ける

- (1) 新たな産業が創出されている
- (2) 市内事業者が社会の変化に適応している
- (3) 誰もが希望する働き方を実現している

取組目標④ 将来を展望した都市環境の形成を進める

- (1) 次代につなぐ快適な都市環境の実現に取り組んでいる
- (2) 安全に暮らすことができる災害に強いまちの実現に取り組んでいる

取組目標⑤ 脱炭素社会の実現に挑戦する

- (1) CO2排出削減目標を達成している
- (2) 新たなエネルギーや技術の利活用に取り組んでいる

3

とよたローカルゴール

ミライ実現戦略2030の終了年が、SDGs達成を目指す年と同じ2030年であることから、それぞれの方向性を連動させて取組を進めます。また、ミライ実現戦略2030の実現に向けて、市民の心身の豊かさに焦点を当てた目標「とよたローカルゴール」を市独自に設定します。SDGsの17目標と一体的に推進することで相乗効果を図ります。

L1 こどものミライに夢と希望を



「こどもたちが夢と希望を持ち、自らのミライを切り拓く力を育む」

持続可能なまちづくりのためには、次世代を担うこどもの育成が必要不可欠です。こども達がミライに向かって夢と希望を持ち、心豊かに暮らせるよう、「こども起点」、「こども視点」で施策の在り方を考え、まちづくりを推進します。

L2 地域に愛着と誇りを



「誰もがつながり合い、様々な体験と感動を通じて、地域への愛着と誇りを持っている」

地域や多世代によるつながり合いの中で、本市ならではの様々な体験や感動は、わたしたちの暮らしを豊かなものにしてくれます。本市に関わる全ての人が、本市や自分が居住する地域に対して愛着や誇りを感じられる地域社会をつくれます。

4

令和7年度当初予算編成方針

- ミライ実現戦略2030の取組目標を実現するための施策に重点配分
- 市民生活の「安全・安心」を確保する取組を着実に推進

新たな総合計画のスタートと合わせ

「チェンジ」「チャレンジ」思考でまちづくりを進めます。

取組方針1 ともにこどものミライに
夢と希望をつくる

取組目標①
こどもが多様な生き方・
暮らし方を選択できる

取組目標②
誰もがつながり合いの中で安心して
自分らしく暮らすことができる

取組方針2 ともにミライにつながる
まちをつくる

取組目標③
産業中枢都市として
深化し続ける

取組目標④
将来を展望した
都市環境の形成を進める

取組目標⑤
脱炭素社会の実現に
挑戦する

5

取組目標① こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる

施策別事業集P1,2

将来を担うこどもの活動・体験の機会を充実させます。

地域資源を生かした 「遊び・学び・体験」の機会の充実

拡 とよた地域クラブ活動の推進 2億6,178万円

中学校の部活動に替わり、こどもたちがスポーツ・文化等に親しむことができる機会を創出

新 快適な地域体育館等の整備に向けた検討 1,650万円

地域体育館等の暑さ対策として、空調設備整備に向けた基礎調査を実施

自ら考え判断する教育の推進

新 WE LOVE とよた教育プログラムの整備 506万円

学校教育において地域資源を生かした学びを提供

中学生と地域の大人による対話的な学びの推進 300万円

中学生と地域の大人が互いの人生や目標などを語り合い職業観の醸成や世代間交流を促進

少人数学級によるきめ細かな教育の充実 4億3,357万円

学校教育におけるICTの活用 39億1,992万円

6

取組目標① こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる

施策別事業集P2,3,4

まちへの愛着・誇りを育み、「クルマのまち」を始め本市ならではの魅力を生かしたまちづくりを進めます。

日本をけん引するモビリティ産業の振興

先進技術を使った移動支援事業 1億7,604万円
自動運転技術の導入を目指し、公民連携による実証事業を実施

「クルマのまち」の顔としての 魅力的な都心の形成

魅力的な都心形成の推進 35億1,273万円
豊田市駅西口・東口・駅舎整備等を推進

ミュージアムを生かしたまちづくり

博物館・美術館等の展覧会の開催 3億455万円

ラリーをいかしたまちづくりの推進

世界ラリー選手権の開催 8億4,465万円
開催予定：令和7年11月6日～9日

産業振興

観光関連産業や地域経済の活性化

山村振興

競技会場となる山村地域の活性化

交通安全

ラリー教室など交通安全啓発の推進



©ラリージャパン

7

取組目標② 誰もがつながり合いの中で安心して 自分らしく暮らすことができる

希望する誰もが安心して結婚や子育てができる環境づくりを
更に拡充します。

子育て世帯支援のための無償化

こども医療費 無償化

高校生世代まで通院・入院費無償、
大学生等入院費無償

こども園等・学校給食費 無償化

こども園・幼稚園から中学校まで無償

公共施設 無償化

学び体験施設について高校生世代まで無償

拡 第2子の保育料無償化 1億9,532万円
制度を拡大し、こども園等の第2子保育料を無償化

結婚などに向けた支援

新 若い世代のライフデザイン形成の支援 596万円
将来の人生設計を考え、「なりたい自分」の選択肢
を広げる

結婚新生活者への支援 6,800万円
結婚新生活に必要な費用を補助

子育て世帯のニーズへの対応

拡 放課後児童の健全育成 16億757万円
放課後児童クラブの利用対象を小学6年生まで拡充

8

こども・若者への主な施策

小・中・高校生

ミライ形成期

家族形成期

主な施策

拡充

- とよた地域クラブ
活動の推進

新規

- WE LOVE とよた教育
プログラムの整備
- 中学生と地域の大人
による対話的な学び
の推進
- 少人数学級による
きめ細かな教育の充実
- 学校教育における
ICTの活用

新規

- 若い世代の
ライフデザイン形成の支援
- 結婚新生活者への支援

新規

- 高校生バス通学者
への支援

新規

- 高卒人材と企業の
就労マッチング支援

拡充

- 姉妹都市交流
の推進

新規

- 新生活に向けた賃貸住宅
のリノベーション支援
- 先進医療を用いた
不妊治療への補助
- 妊娠期からの相談支援
- 産前産後の子育て家庭
の支援

拡充

- 第2子の保育料無償化

拡充

- 0～2歳児受入拡大

拡充

- 一時保育プラス事業

拡充

- 「とよた急病・子育て
コール24」の運営
- 放課後児童の健全育成
- こども医療費 無償化
- こども園等・学校給食費
無償化
- 公共施設 無償化

9

取組目標③ 産業中枢都市として深化し続ける

→ 施策別事業集P8

ミライを支える産業の創出と育成に向け、企業のチャレンジを支援します。

戦略的な産業基盤の整備と立地支援

- 拡** 設備投資の促進 13億4,029万円
- 産業誘導エリアの産業用地の創出と基盤整備 4,400万円



ものづくり創造拠点「SENTAN」

新事業の展開等のチャレンジの促進

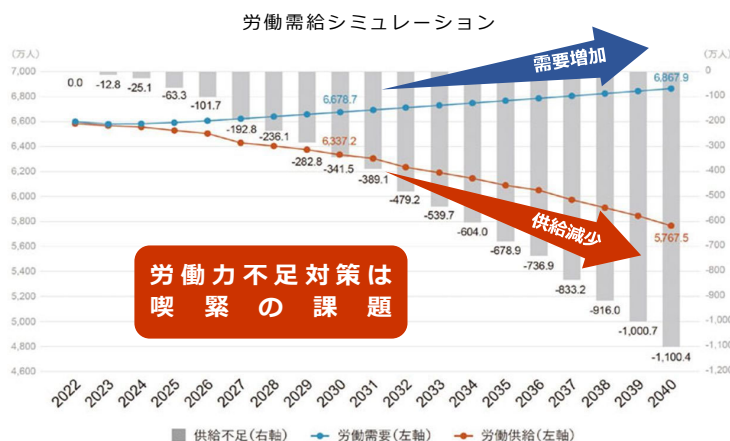
- 新** イノベーションを創出する仕組みづくり 1,500万円
ものづくり創造拠点のSENTANがハブとなり、市内企業やスタートアップ等の交流・連携を促進する取組を実施
- 新** 新たなプレイヤーの活躍促進 1,000万円
スタートアップ等の新たなプレイヤーの事業計画策定等を支援する「アクセラレータープログラム」を実施
- 拡** 市内企業の新事業展開に対する支援 2,248万円
オープンイノベーションによる新規事業創出に向けた伴走支援を拡充実施
- 拡** 商業・サービス業の担い手創出の推進 319万円
創業を目指す人を対象としたプログラムを実施

10

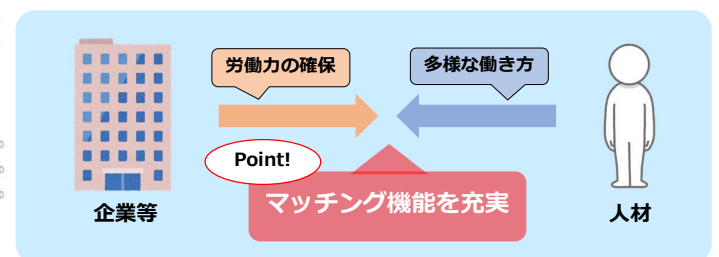
取組目標③ 産業中枢都市として深化し続ける

→ 施策別事業集P9

多様な人材の活躍を支援するとともに、受入企業への支援を推進します。



- 拡** 多様な人材の活躍支援 1億3,805万円
多様な人材のキャリア形成、スキルアップ、就労・定着等への支援
- 新** 地域企業の人材確保に向けたマッチング機能の充実 1,000万円



11 出典：株式会社リクルート「未来人材予測2040」

取組目標④ 将来を展望した都市環境の形成を進める

→ 施策別事業集P10,11,12

住みたい・住み続けたいと感じられるまちの実現と 激甚化・頻発化する自然災害への適応を進めます。

都市と山村の良好な住環境確保に向けた取組

- 新** 土地利用制度の戦略的な活用 1,500万円
- 拡** 土地区画整理事業の推進 9億2,267万円
- 拡** 次期おいでん・さんそんプランの策定 1,979万円
- 山村地域への移住・定住の促進 4,736万円
- 新** 住宅における危険木解消の推進 1,000万円
- 地域課題解決事業・わくわく事業 4億9,867万円
地域特性を生かしたまちづくりを推進

地域の防災力強化等に向けた取組

- 令和6年能登半島地震を教訓に頻発化・激甚化する災害に備えるため市民への啓発や各種支援事業を継続
- 拡** 自助意識の促進 1,049万円
マイ・タイムラインの作成支援等による自助意識の向上
- 健康危機管理対策の推進 672万円
通信環境整備等の災害関連死低減に向けた取組実施
- 拡** 民間木造住宅の耐震化の促進 6,345万円
- 上下水道関係施設の災害対策の推進 11億3,064万円
上下水道一体で耐震化等の災害対策を推進

12

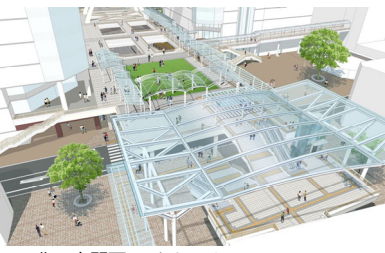
取組目標④ 将来を展望した都市環境の形成を進める

→ 施策別事業集P11

中心市街地の活性化を目指し、魅力的な都心をつくります。



※豊田市駅西口バス乗降場イメージ



※豊田市駅西口イメージ

コンセプト

- ・ウォーカブルで日常的ににぎわう公共空間の創出
- ・超高齢社会に適応した交通結節機能の強化
- ・安全・安心な歩行者動線の確保と施設機能、配置の最適化

主な 整備内容

整備スケ ジュール

魅力的な都心形成の推進【再掲】 35億1,273万円

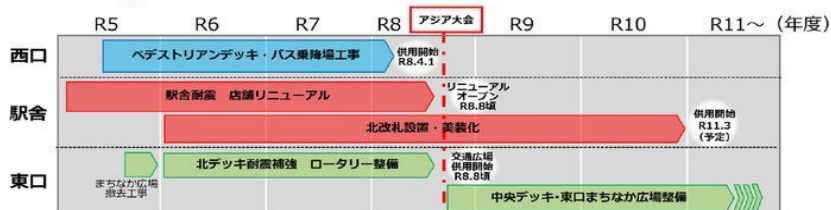
豊田市駅西口ペDESTリアンデッキ等整備

ペDESTリアンデッキの耐震化やバス乗降場等の整備を実施

豊田市駅東口駅前広場ロータリー等整備

豊田市駅駅舎整備

駅舎の北改札設置やバリアフリー化等の実施を支援



13

取組目標⑤ 脱炭素社会の実現に挑戦する

施策別事業集P13,14

家庭や事業者を支援し、脱炭素社会の実現を目指します。

CO₂排出量目標

2030年度 ▲50%(2013年度比)

2050年度 排出実質ゼロ



2021年度のCO₂排出量は2013年度比▲24%
2030年度▲50%に向けて、▲26%の対策が必要



市民向け支援事業

拡 スマートハウスやZEHの普及促進 2億970万円

拡 次世代自動車の普及促進 1億109万円

事業者向け支援事業

拡 次世代自動車の普及促進 1,568万円

新 太陽光発電設備の設置促進 3,350万円

行政における脱炭素の推進

太陽光発電設備整備の実施 340万円

債務負担行為総額 3億4,322万円

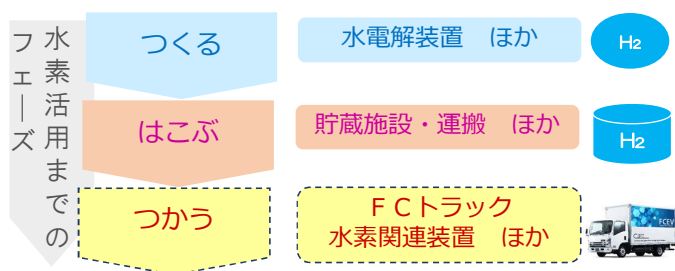
照明のLED化推進 504万円

債務負担行為総額 10億7,024万円

取組目標⑤ 脱炭素社会の実現に挑戦する

施策別事業集P14

新たなエネルギーとして水素の活用を推進します。



令和7年度から「水素をつかう」分野の支援を開始

- 安全で新たなエネルギーであることの周知
- 水素エネルギーを活用する車両等の普及促進

市民・事業者向け啓発事業

新 水素社会の実現に向けたプロモーションの実施 1,892万円

水素技術を持つ企業と技術に関心のある企業のマッチング等を実施

事業者向け支援事業

新 燃料電池トラック導入への支援 5,420万円

新 新エネルギーを活用した設備導入への支援 2億円〔水素活用枠 1億円〕

行政における水素活用

新 燃料電池給食配送車の導入 735万円

学校給食の配送にFCトラックを導入



市民が安心して暮らすことのできる取組

施策別事業集P14,15

○地域共生社会の実現に係る事業のほか安全・安心を確保する事業を確実に実施

健康・福祉

生活困窮者等への支援 8,384万円
生活支援や就労支援のほか、市営住宅等を活用した一時的な居住支援を実施

特別養護老人ホーム等の整備 3億1,130万円
特別養護老人ホームや認知症高齢者グループホーム等の整備に対して補助

とよた健康プラス10の推進 718万円
地域・企業等と連携し、健康教育、啓発等を実施

予防接種の実施 25億7,435万円
B型肝炎、ロタ、新型コロナなどの予防接種を実施
男性向けHPVワクチン接種の助成を開始

交通安全・防犯

主要交差点への防犯カメラの設置 1,436万円
主要交差点に設置した防犯カメラの運用により市域全体の犯罪を抑止

自主防犯活動への支援 328万円
研修会や活動物品の提供等により自主防犯活動団体を支援

特殊詐欺被害防止対策の推進 9,475万円
金融機関のATMを対象としたパトロールを実施
特殊詐欺被害防止機器の購入費を補助

高齢者への交通安全教育の推進 1,457万円
世帯訪問や運転技術講習を開催
交通事故防止や犯罪被害防止対策を実施

16

公共施設開館周年事業

○令和7年度に開園・開館から周年を迎える施設で記念事業を実施します。

60
周年



鞍ヶ池公園

開園60周年を迎える鞍ヶ池公園で、民間事業者による記念イベントを開催

50
周年



市民文化会館

開館50周年を迎える市民文化会館で、文化・芸術活動者を招き講演会等の記念事業を開催

30
周年



美術館

開館30周年を記念して、美術品を購入
後世に残る名作を市民が身近に鑑賞できる機会を創出
周年記念事業として、「モネ、睡蓮のとき」展をはじめ各種展覧会を開催

17

令和7年度 一般会計予算案の規模

2,197億円 過去最高額

(前年度比) +243億円〔+12.4%〕

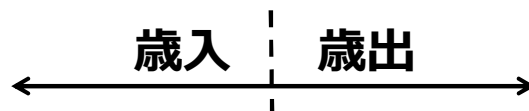
※令和6年度当初予算は骨格予算として編成

(参考) 特別会計 710億円 △20億円〔△2.8%〕
 企業会計 366億円 +13億円〔+3.6%〕

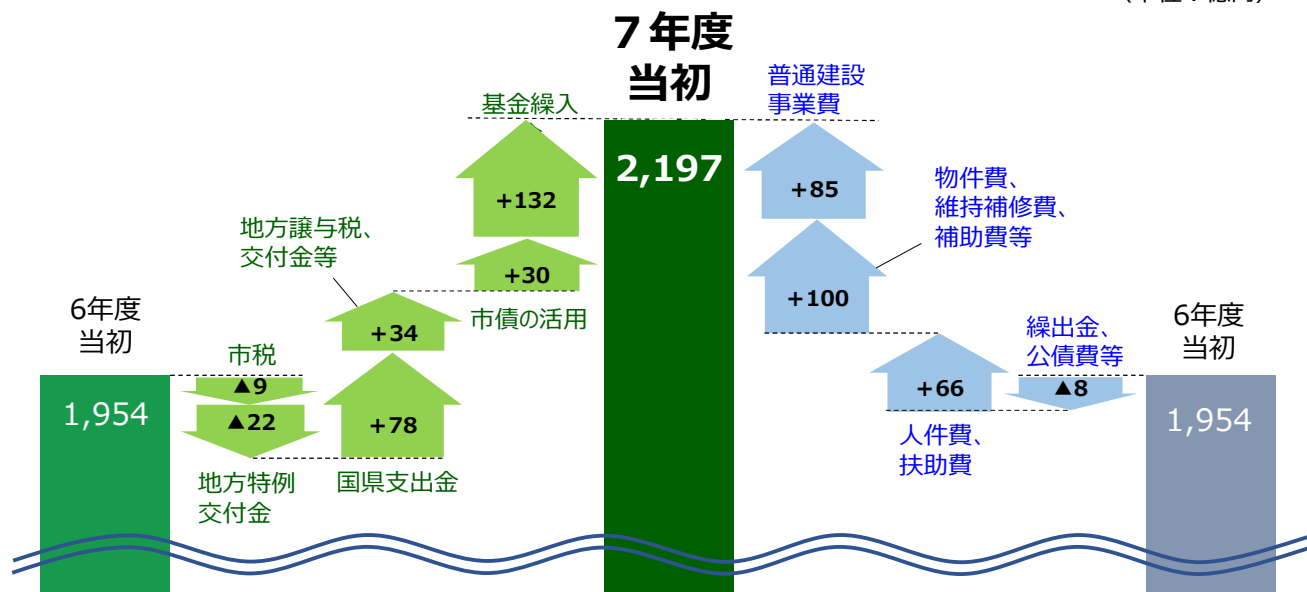


18

前年度予算との比較



(単位：億円)



19

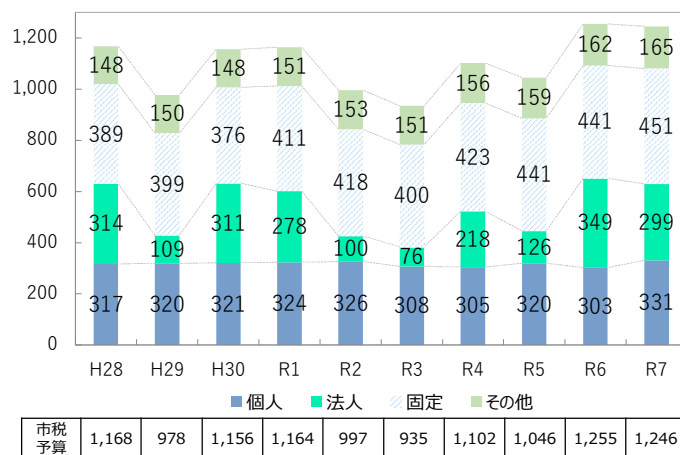
歳入の特徴＜市税＞

- ・市税は、1,246億円（対前年度9億円の減）
- ・個人市民税は、定額減税制度の終了等による影響で28億円増
- ・法人市民税は、企業業績の変動等による影響で50億円減

【主な市税の対前年度比較】（単位：億円）

	7年度	6年度	増減
個人市民税	331	303	28
法人市民税	299	349	▲50
固定資産税	451	441	10
その他市税	165	162	3
計	1,246	1,255	▲9

【市税当初予算額の推移】（単位：億円）



20

歳入の特徴＜市税以外の歳入＞

- ・国県支出金をはじめとする歳入を積極的に確保
- ・基金・市債を効果的に活用し、事業実施のための財源を確保

（単位：億円）

区分	7年度	6年度	増減額	主な増減理由
譲与税,各種交付金	176	159	17	地方消費税交付金 +15.8億円
地方特例交付金	6	26	▲20	地方特例交付金 ▲20.5億円
国県支出金	469	392	77	児童手当負担金 +31.6億円 GIGAスクール構想推進事業費補助金 +14.2億円 物価高騰対応臨時交付金（調整給付分） +13.4億円
繰入金	139	7	132	財政調整基金繰入金 +78.7億円 都市高速鉄道整備基金繰入金 +20.0億円
諸収入	57	46	11	二酸化炭素排出抑制対策事業 + 5.8億円 新型コロナウイルスワクチン接種助成金 + 4.4億円
市債	40	10	30	
その他歳入	64	59	5	
計	951	699	252	

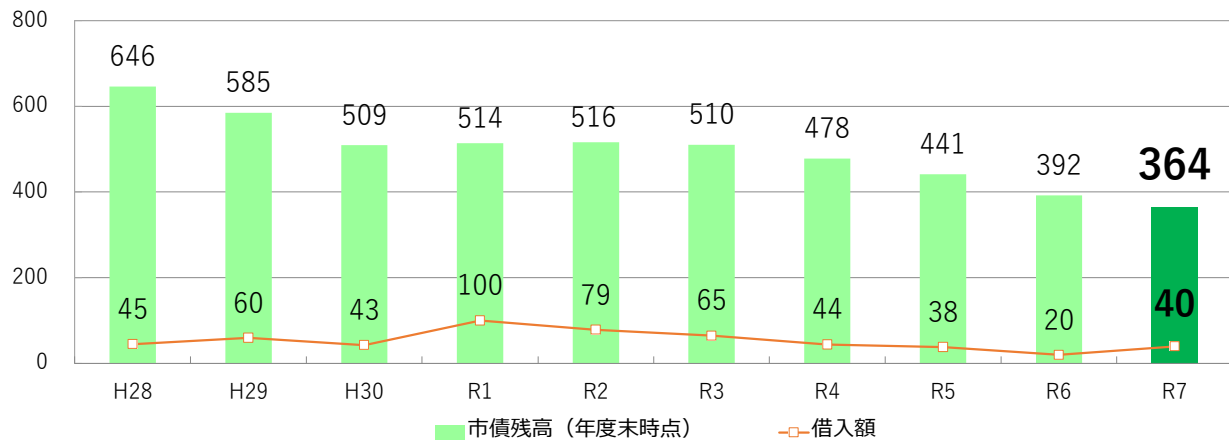
21

歳入の特徴＜市債（借入金）＞ 令和7年度借入 40億円

- ・まちづくりに必要な投資や市民サービスの提供のために活用

【市債残高（年度末時点）と借入額の推移】

（単位：億円）



元金償還額	128	121	119	95	77	71	77	75	69	68
-------	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	----

※H26～R5は決算額、R6には繰越分を含む、R7は当初予算額

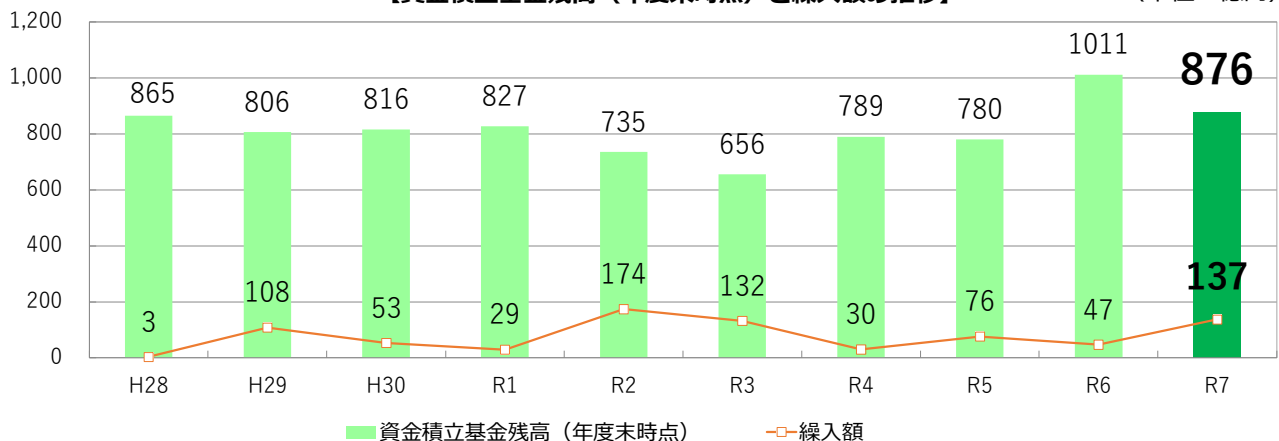
22

歳入の特徴＜基金（繰入金）＞ 令和7年度基金取崩 137億円

- ・これまで積み立ててきた特定目的基金58億円を各事業推進のために活用
- ・財政調整基金は79億円を活用

【資金積立基金残高（年度末時点）と繰入額の推移】

（単位：億円）



積立額	136	49	63	40	82	53	163	67	278	1
-----	-----	----	----	----	----	----	-----	----	-----	---

※H27～R5は決算額、R6には補正予算分を含む、R7は当初予算額

23

歳出の特徴＜義務的経費＞

- ・義務的経費は増（人件費・扶助費は増、公債費は減）

（単位：億円）

区分	7年度	6年度	増減額	主な増減理由
人件費	369	352	17	一般職員 給与・手当等 +12.7億円 一般職員退職手当 ▲9.5億円 会計年度任用職員 報酬・手当等 +11.5億円
扶助費	436	387	49	児童手当の拡充 +31.8億円 障がい福祉介護・訓練等給付 +9.2億円 教育・保育給付費 +4.0億円
公債費	70	71	▲1	償還元金の減 ▲0.9億円 利子の減 ▲0.4億円
計	875	810	65	

24

歳出の特徴＜その他経費＞

- ・第9次総合計画を推進するほか、市民生活の安全安心を確保する事業は着実に推進

（単位：億円）

区分	7年度	6年度	増減額	主な増減理由
物件費	448	392	56	小・中・特別支援学校タブレット更新 +34.3億円 予防接種費（定期、任意） +7.4億円 情報政策推進費、情報システム関係費 +3.3億円
維持補修費	41	37	4	公共施設維持補修費の増
補助費等	276	236	40	物価高騰対応定額減税の不足額給付費 +12.0億円 後期高齢者療養給付費負担金 +3.5億円 私立認定こども園運営補助 +3.0億円
普通建設事業費	451	366	85	高機能消防指令システム等整備事業 +37.5億円 市庁舎長寿命化改修事業 +18.8億円 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業 +12.5億円
繰出金	86	90	▲4	土地区画整理事業への繰出金の減 ▲3.2億円
その他	20	23	▲3	
計	1,322	1,144	178	

25

歳出の特徴＜普通建設事業費＞

- ・ 将来のまちづくりや市民生活の安全安心の確保に必要なハード整備を計画的に推進
7年度当初予算 **451億円**
+ 国の大型補正等による3月補正予算 **28億円**（令和7年度に繰越）
479億円

■ 将来を展望したまちづくり	※（ ）内は前年度比較
名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業	76.6億（+12.5億）
都心環境計画推進事業	35.1億（+7.6億）
野見こども園の園舎改修事業	3.1億（+3.1億）
中央公園第二期整備事業	2.6億（+1.5億）
■ 市民生活の安全安心を確保	※（ ）内は前年度比較
高機能消防指令システム等整備事業	37.5億（+37.5億）
渡刈クリーンセンターの大規模改修事業	25.3億（+13.5億）
市庁舎の長寿命化改修事業	18.8億（+18.8億）
地域医療センターの電子カルテシステム整備事業	14.8億（+14.8億）

26

更なる歳入確保、事業・事務の最適化等の推進

● 積極的な歳入確保の取組 **38.3億円** ※令和6年度3月補正（10.6億円）を含む

- 国県補助金等の積極的な確保
- 廃棄車両等の売却
- 寄附金の積極的な確保 など

● 事業・事務の最適化等の推進 **▲14.9億円**

- 乳幼児健康診査のデジタル化等による効率化
- 生成AIを活用した翻訳業務の見直し
- 粗大ごみ受付システムの見直し
- 決算に基づく適切な予算配分 など

27



SDGs 未来都市とよた

Sustainable Development Goals Future City, TOYOTA CITY



主な取組は別冊「施策別事業集」を
ご参照ください

